

科目番号	54023	分類	専門科目 保健医療福祉政策論	履修者	高度実践公衆衛生看護コース	学年	1	
科目名	公共政策論 (Public Policy Studies)					1		
						配当セクター		
						後期		
担当者	○下井直毅		区分	必修	単位	2	時間数	30
授業の概要および目標						学位授与の方針との関連		
<p>【概要】 日本の公共政策に関する各種法律の特徴やその内容について学ぶ。また、医療に限らず幅広い公共政策の分野に関する基礎知識を習得し、将来の政策形成に参加できる能力を養う。</p> <p>【目標】 日本の公共政策の内容に対して関心を持ち、全体像を理解する。また、それを分析するための枠組みとしての公共政策論を学び、身につける。</p>						○	1.多様な課題に対応する高度な実践力	
							2.地域住民の自立を支える統合的支援能力	
							3.地域の健康課題を科学的にアセスメント・分析する能力	
							4.政策や保健事業を開発する能力	
							5.災害対応や振興・再興感染症への危機管理能力	
							6.公衆衛生看護・公衆衛生行政に繋がる研究能力	
授 業 計 画								
回	内 容						担当教員	
第1回	公共政策論とは何か？－公共政策論が誕生した背景などについて						下井	
第2回	公共政策とは何か？－社会の問題を解決するための方針や手段について							
第3回	アジェンダ設定を学ぶ－どのような政策課題を検討するのか？							
第4回	政策問題の構造化－対応すべき問題は、どのようにとらえるのか？							
第5回	公共政策の手段－どのようにして目的を実現するのか？							
第6回	規範的判断とは何か？－社会が目指すべき価値について							
第7回	政策決定と合理性について－合理的な意思決定というのは可能なのか？							
第8回	政策決定と利益について－社会利益はどのように調整されて政策化するのか？							
第9回	政策決定と制度について－社会の制度は政策にどのような影響を及ぼすのか？							
第10回	政策決定とアイデアについて－社会理念はどのような影響を及ぼすのか？							
第11回	公共政策の実施について－政策実施については誰がどのようにかわるのか？							
第12回	公共政策の評価について－政策の効果はどのように測るのか？							
第13回	公共政策の管理システム－政策を提供する仕組み・制度はどのようなものか？							
第14回	公共政策の改善－公共政策の分析・決定・実施の改善はどのようにするのか？							
第15回	まとめ							
事前・事後学習	事前学習：前回の講義内容について十分に理解をしておくこと。 事後学習：講義内容の復習と次回講義の準備を1.5時間以上の時間をかけて取り組むこと。 単位と時間数に応じた学習時間（学生便覧参照）を参考にに取り組むこと。							
評価の方法	出席点あるいは授業の平常点（30%）、試験（70%）。合計100%で100点満点。 100点満点中60点以上であれば単位を付与する。							
参考図書・資料等	秋吉貴雄、伊藤修一郎、北山俊哉「公共政策学の基礎」有斐閣、2015年 秋吉貴雄「入門 公共政策学－社会問題を解決する『新しい知』」中央公論新社、2017年							
備 考	オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。							